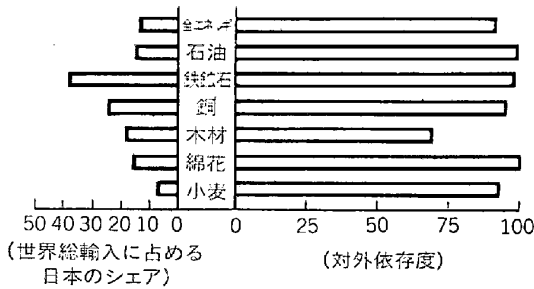


統 計

世界貿易の相互依存 (2) 日本の資源輸入

世界貿易が著しく増加し各国の相互依存関係はますます強くなっているが、もちろん我が国も例外ではなく、図と表にみられるように、エネルギー、鉱物資源、および食料の多くを海外に依存している。特にそれらの消費量が多いため世界総輸入に占める日本のシェアはかなり高い。



主要資源の対外依存度(79年) (単位: %)

	日 本	アメリ カ	西ドイ ツ	イギリ ス	フラン ス
エ ネ ル ギ	87.0	20.6	57.7	9.3	80.3
石 炭	79.2	△ 9.6	△ 8.7	1.6	57.0
天 然 ガ ス	99.8	42.3	95.8	18.9	99.0
鉄 鉱 石	88.7	5.8	65.8	19.5	68.8
錳	98.6	29.7	96.9	80.7	44.4
銅	95.6	33.5	99.9	100.0	99.9
鉛	82.4	59.9	90.9	99.3	86.0
亜 鉛	68.7	70.6	71.9	100.0	87.2
錫	97.7	100.0	100.0	81.8	100.0
アルミニウム	100.0	63.6	100.0	100.0	△230.5
ニ ッ ケ ル	100.0	93.0	100.0	100.0	100.0
木材	69.2	3.8	20.7	72.9	16.0
羊毛	100.0	23.2	92.3	51.4	73.3
綿花	100.0	△84.4	100.0	100.0	100.0
大豆	95.4	△51.2	100.0	100.0	97.2
とうもろこし	100.0	△42.9	79.1	100.0	△ 30.0
小麦	93.0	△147.1	△ 0.8	25.4	△ 80.2

- (備考)1. 対外依存度は  $\frac{\text{輸入量} - \text{輸出量}}{\text{国内生産量} + \text{輸入量} - \text{輸出量}} \times 100$  で算出した。ただし、銅、鉛、亜鉛、錫、アルミニウム、ニッケルについては、 $(1 - \frac{\text{国内鉱石産出量}}{\text{地金消費量}}) \times 100$
- 木材(丸太及び製材等)については、丸太換算して算出した。マイナスは輸出を表す。
- エネルギー、石炭、石油、天然ガス、木材は、78年の対外依存度である。
  - 我が国のエネルギー、石炭、石油、天然ガスは79年度の対外依存度である。
  - エネルギーは、石炭、石油、天然ガス、電力(水力、原子力)の合計である。
  - 小麦の輸出入は小麦粉も含む。
- (通商産業省編：昭和 56 年版通商白書 (昭 56) pp. 6~7)

編集後記

▶編集後記を書く番が回つて来た。普段この種の文章を書き慣れていないので、大いに困惑したが、本誌の編集のお手伝いをしていて日頃感じていることを述べて責を果たしたい。

会員各位には既にお気づきのように、本誌では本年1月より学術論文以外の記事の充実に努めており、そのページ数は昨年の約2.5倍に達している。企画担当者の熱意と執筆者の御協力のお蔭で好評をいただいているようで御同慶の至りではあるが、台所の方は火の車ほどではないにしても従来比較的鷹揚に使用して来た経費を多少とも節減しなければならなくなつた。その一対策として本号の会告でお知らせしているように論文の印刷ページ数の上限を従来 10 のページから8ページに減らさざるを得なくなり、また表の中の活字が一段と小さくなるとのことである。そろそろ眼鏡が必要となつた小生にとって論文はますます遠くなりそ

うである。

ところである学会の調査によれば、一つの論文を詳細に読む人の数は1桁も下の方だそうである。学術論文の出版でメリットを受けるのは読む人よりも書く人であるのが現実であろう。そうはいつも本誌は依然として他誌よりも十分な紙面を使つて情報伝達手段としての大きな役割を務めており、最近では海外の読者もふえている。この意味で論文を投稿なさる方には限られた紙面の中で簡潔な文章で十分内容を伝えるようお願いしたい。かく言う小生も「そのまま英語に訳せるような構造の文章を書く」という我流の目標を掲げて努力してはいるが、この程度の文章しか書けず汗顔の至りである。

来年は本誌の内容をますます充実して会員各位の多様な御要望に沿いたいと思つている。各位の叱咤激励をお願いする次第である。(N.S.)